

第二期土浦市役所環境保全率先実行計画による環境負荷等実態調査 の実施に伴う目標達成状況について（報告）

1 調査の趣旨

地球温暖化対策の推進に関する法律第 21 条の規定により平成 18 年度に策定した『第二期土浦市役所環境保全率先実行計画』に基づき、毎年、市役所の事務・事業に関する温室効果ガス排出量の状況などの調査を行っています。

2 第二期土浦市役所環境保全率先実行計画で定める削減目標

(1) 温室効果ガス総排出量の削減目標

「市役所独自分」の事務・事業に係る温室効果ガス総排出量を平成 17 年度を基準に、平成 19 年度から平成 23 年度までの計画期間中に 5%削減することを努力目標としています。

(2) 重点目標

- 重点目標(ア)……電気使用量 3%削減
- 重点目標(イ)……ガソリン使用量 同等に抑制
- 重点目標(ウ)……軽油使用量 同等に抑制
- 重点目標(エ)……灯油使用量 7%削減
- 重点目標(オ)……A 重油使用量 14%削減
- 重点目標(カ)……LPG 使用量 5%削減
- 重点目標(キ)……都市ガス使用量 14%削減
- 重点目標(ク)……用紙類(コピー用紙)の購入量 6%削減
- 重点目標(ケ)……水使用量 8%削減
- 重点目標(コ)……「環境物品等の調達方針」に基づき、グリーン購入実施
- 重点目標(サ)……公共施設から排出される可燃ごみ 13%削減

3 今回の調査対象期間

平成 19 年度

4 調査対象範囲

調査対象とする範囲は、市役所が実施する事務・事業全般です。

また、対象とする組織・施設は、本庁舎のほか分庁舎、公民館、学校等を含む市役所のすべての組織・施設です。

* 一般的に事務・事業を委託している施設は、法定外として、この調査の対象としていません。

5 環境負荷等実態調査の実施方法

各所属で選任されたエコオフィス推進員からの報告を取りまとめ、目標別達成状況(資料)を作成しました。

6 調査結果

温室効果ガス総排出量を平成 17 年度対比で、7.0% (590,931kg-CO₂: 二酸化炭素換算)削減できました。(詳細は資料 のとおり)

* これは、原油 224,177 リットル(ドラム缶約 1,121 本)燃焼相当分となります。

* また、今回の削減により、概算で 2,441 万円の費用削減効果があったこととなります。(詳細は資

料 のとおり)

7 調査結果の取り扱い

今回の調査に係る温室効果ガス総排出量や目標達成状況を市のホームページでも公表いたします。

土浦市役所環境保全率先実行計画 目標別達成状況

【資料】

項目	削減目標	単位	二酸化炭素排出係数	H17年度 [基準年度]	H19 年度	構成比 (%)	H17対比		備考	
							増減量	増減率 (%)		
温室効果ガス削減対象 重点目標	電気使用量*	3%削減	kWh	0.372	14,835,665	14,397,377	68.24	438,288	3.0	・昼休みの消灯, パソコンの節電 エアコンの適正温度設定
			kg-CO ₂		5,518,867	5,355,824		163,043		
	ガソリン使用量	H17と同等	リットル	2.32	156,646	152,800	4.52	3,846	2.5	・アイドリングストップの徹底
			kg-CO ₂		363,419	354,496		8,923		
	軽油使用量	H17と同等	リットル	2.62	47,163	47,571	1.59	408	0.9	・公用車の走行距離の増加 (土浦地区) H17...121千km H19...166千km
			kg-CO ₂		123,567	124,636		1,069		
	灯油使用量	7%削減	リットル	2.49	375,504	320,445	10.17	55,059	14.7	・ポリタンクの廃止 ・第一給食センター、各小中学校で使用
			kg-CO ₂		935,005	797,908		137,097		
A重油使用量	14%削減	リットル	2.71	435,811	347,144	11.99	88,667	20.3	・上大津公民館(A重油から灯油へ) ・各小中学校で使用	
		kg-CO ₂		1,181,048	940,760		240,288			
LPG使用量	5%削減	m ³	3.00/0.5	23,402	21,711	1.66	1,691	7.2	・施設給湯及び保育所調理設備	
		kg-CO ₂		140,412	130,265		10,147			
都市ガス使用量	14%削減	m ³	2.08	66,500	49,525	1.31	16,975	25.5	・施設暖房, 給湯及び 保育所調理設備	
		kg-CO ₂		138,320	103,011		35,309			
重点目標以外	-	kg-CO ₂	-	38,547	41,354	0.53	2,807	7.3	・自動車の走行や浄化槽における し尿等処理により排出されるメタン, 一酸化二窒素, HFC	
温室効果ガス総排出量	5%削減	kg-CO ₂	-	8,439,185	7,848,254	100.0	590,931	7.0	・地球温暖化対策推進法施行令 で定められた排出係数により 算出しています。	
削減対象以外 重点目標	北用紙購入量	6%削減	千枚 (A4換算)	-	18,776	20,378	-	1,602	8.5	・各学校等で増加
	水使用量	8%削減	m ³	-	269,148	245,780	-	23,368	8.7	・節水コマの設置等 ・学校プールでの使用
	可燃ごみ廃棄量	13%削減	kg	-	555,920	497,625	-	58,295	10.5	・基準年度は新治地区分を含まない。

* 本表には、市民活動等の関与が大きい清掃センター及び最終処分場の電気使用量について、「市民等関与分」として含んでいません。
kg-CO₂: 温室効果の違うガスの量を代表的な温室効果ガスである二酸化炭素の重量に換算した単位で、国で採用している単位。

費用削減効果について

平成19年度実績:平成17年度対比(概算)

項目	増減量	単価	金額
電気	438,288 (kWh)	22 (円/kWh)	9,642 (千円)
ガソリン	3,846 (リットル)	135.4 (円/リットル)	521 (千円)
軽油	408 (リットル)	117.3 (円/リットル)	48 (千円)
灯油	55,059 (リットル)	78.2 (円/リットル)	4,306 (千円)
A重油	88,667 (リットル)	73.8 (円/リットル)	6,544 (千円)
LPG	1,691 (m ³)	460 (円/m ³)	778 (千円)
都市ガス	16,975 (m ³)	157 (円/m ³)	2,665 (千円)
計			24,408 (千円)

【単価の根拠】

- ・電気: (財)省エネルギーセンター発行の資料に示されている一般的な単価
- ・ガソリン: 平成19年度管財課契約単価(レギュラーガソリン)
- ・軽油: 平成19年度管財課契約単価(軽油税を含む。)
- ・灯油: 平成19年度管財課契約単価(ローリー単価)
- ・A重油: 平成19年度管財課契約単価(ローリー単価)
- ・LPG: 平成19年度管財課契約単価
- ・都市ガス: 平成19年度の年間平均単価(東部ガスより)